第 2012-14 号

恵みと真理のニュース

2012 年 7 月の 二次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］　悪性こぶを治して下さいました。

私は中学校のとき、友達と一緒に教会に行ったことがあります。しかし長く通うことはできませんでした。大きくなってからは神様を信じてない人に出会い結婚しました。1980年、証の本を読んで、教会に通いたいと思いました。その後偶然、伝道されて教会に行くことができました。教会に行くことがとても楽しくて旦那にも一緒に行こうと誘いました。そして一緒に教会に行くことができました。

旦那が海外で働くチャンスができました。それで1年間、海外で働いて帰ってきました。しかし旦那は再び海外に行く準備をしていました。当時、海外就職のために健康診断を受けて、合格しなければなりませんでした。しかし健康診断日の3日前に旦那が尿道炎にかかっていることが分かりました。それで私たちは尿道炎を治して下さいと神様に切なく祈りました。驚くことに、神様は私たちの祈りを聞いて下さって、3日後の診断では異常なしという結果ができました。

ゴチョン(韓国の地名)のアパートへ引っ越しした後から、恵みと真理教会へ通いました。当時はアパートの近くに広い砂礫地あって、そこから少し離れたところにバラックの集落がありました。そこはハンセン病の患者たちがたくさん集まって暮らしていました。とても拒否感があったものの、近くには絶対行きませんでした。しかし、彼らにも福音を伝えたいといけないと思い、その集落に行って福音を伝えました。首席区域長になってからはもっと一生懸命に教会のことに集中し、福音を伝えるために頑張りました。夢中になって頑張っている私を神様を信じていない人たちは変な目で見ながら、無視する人もいました。しかし、神様が与えて下さった愛の心をもって、周りの人々に優しく接して福音を伝えると、その人々の心が少しずつ変わっていることを感じました。

1990年度のことです。区域のある聖徒の家庭にとても大変なことがおきました。聖徒の旦那さんが濡れ衣を着せられて、監獄に入るようになったのです。
区域の聖徒たちと一緒にその家庭を訪ねて7日間毎日祈りました。神様は私たちの祈りを聞いて下さって驚くぐらいの恵みを与えて下さいました。何日後、聖徒の旦那さんは疑いが晴れて無事に監獄から出ることができました。そして、聖徒の旦那は自分のために祈ってくれたみんなにとても感謝しながら恵みと真理教会でイエス様を受け入れました。
1995年、いつからか疲れが取れない日々が続きました。少し働いただけでもとても疲れていたため、少しでも休まないと仕事を続けることができませんでした。病院に行きましたが毎日無理をしているか、ストレスのためこのような症状がでると言わるだけでした。ある土曜日の夜、いきなりお腹が痛くなりました。まだ、しっかりしていましたが、体はまったく動きませんでした。旦那が私を呼んでいる声が聞こえましたが、その後のことは覚えていません。私は救急車に運ばれて病院にいました。医者はお腹に水が溜まっていると言っていました。CT、MRIを撮って検査をしました。その結果、大きなこぶがお腹の中にあるため命に危険があるということでした。それで、その場ですぐに大きい病院へ運ばれました。再び検査をしましたが、それは悪性こぶでした。お医者さんは抗癌治療を続かないといけませんと言いました。すぐに抗癌治療を始めました。元気、力もなく、とても辛かったです。しかし、どうしても礼拝を捧げたかったので、頑張って礼拝を捧げて伝道もしました。調子がもっと悪くなると聖殿の椅子に座って礼拝を捧げることさえできませんでした。しかし、どうしても聖殿で礼拝を捧げたかったので一番後ろで横になったままやっと礼拝を捧げることができました。体はとても辛くて痛みもありましたが、当会長牧師先生のメッセージをとおして神様の御言葉を聞きながら希望と力を得ることができました。癒しの祈り時間には信仰をもって痛いところに手を置いて切なく祈りました。約3年間の大変な闘病生活を終えて、今は神様の恵みで完地治されました。“しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかって上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れない。”（イザヤ40:31）
私たちを救って下さり、癒しの恵みを与えて下さった主なる神様に感謝と賛美と栄光を捧げます。

［信仰コラム］　あなたはこのように告白することができますか。

“　神はあらかじめ定めた人々をさらに召し、召した人々をさらに義と認め、、、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。”（ローマ8:30-39）

神様は選んだ者を、ある時期になるとキリストの中へ御呼び、呼んで下さった人々を儀と認め、儀と認めた人々にさらに栄光を与えて下さいます。聖徒になるこの全ての過程は、とても素晴らしくて不思議なことです。すべては神様の権力と恵みによることです。‘聖徒’という呼び名は、とても聖なる感動と感激を感じらせる名前です。その理由は、聖徒は誰でもこの本文の御言葉に記録された次の四つの言葉を大胆に告白することができるからです。

第一、“神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵對できるでしょう。”と告白することができます。神様は全知全能な方、無所不在な方、約束したことは必ず守って下さる方です。私たちが聖徒らしい生活をしながら、神様の方に立つと、神様はいつも私たちの側におられます。聖徒たちの強力な敵であるサダンは、私たちが信仰を捨てるようにいろんな詭計と脅威で攻撃します。サダンは誰よりも知能的であり、とても強いです。しかし、聖徒の魂に触れることはできません。イエスキリストの神様がキリストの中にいる私たちを大事にして下さるためです。

第二、“神に選ばれた人々を訴えるのはだれですか。神が義と認めてくださるのです。”と告白することができます。誰かが私たちを訴えるとしても、私たちの救いが揺れることはありません。その理由は、神様が私たちを選んで下さって呼んで下さったからです。イエスキリストを唯一な救世主と信じ、その信仰を、この世の中も何よりも大事にする人は、神様が選んで下さったという証拠をもっている者です。

第三、“義と認めてくださるのです。罪に定めようとするのはだれですか。”と告白することができます。人が罪の問題で思い煩い、罪責感で悩む理由は、私たちがアダムの子孫であるからです。ただ神様だけが人の罪と罪責の問題に対する解決策をもっています。神様が用意して下さった道は、罪の購いの恵みです。イエスキリストは私たちの罪を購うためこの世に来られ、購いの死で我々の罪を購いました。十字架につけられて導い血を流し、死な墓から復活されたイエスキリストを救い主と信じ、受け入れた人々を、誰もが罪を定めることはできません。また、イエスキリストは神様の御座の右で私たちのために祈って下さいます。
第四、“私たちをキリストの愛から引き離すのはだれですか。”と告白することができます。聖徒たちには、永遠に愛している存在がいます。また、永遠に聖徒たちを愛して下さる方がおられます。その方は、我主イエスキリストです。どんな苦難や迫害があってもキリストの愛から私たちを離すことはできません。逆に、その愛をもっと強く体験することができるようになります。キリストの中にいる神様の揺れのない愛と、その偉大さを妨害することはどこにもありません。神様の愛は変わらない愛です。測ることのできない、離すこともできない、圧倒的な勝利が得られる愛です。
聖徒のみなさんには、みなさんを大事にして下さる神様がおられます。みなさんを選んだ神様がおられます。みなさんを儀と認めて下さった神様がおられます。みなさんを愛する神様がおられます。従って上記の四つ言葉を大胆に告白することができます。みなさんはこのような言葉を告白することができるからいつも大胆で、楽しく生きていくようお願い致します。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

あなたがたは聖霊を受けたんですか?

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

人々に〈あなたは聖霊を受けたんですか?〉という質問をすればいくつの返事を聞くようになるでしょう.
〈聖霊様に対して分からないです〉と答える人々がいます.〈私はイエスキリストを信じるから聖霊を受けた人です〉と答える人々がいます.〈私はイエス様を信じてからいく年にもたったがまだ聖霊は受けることができなかったんです〉という返事をする人々もいます.
このようにさまざまな返事が出るようになる理由は〈聖霊を受ける〉に対する理解の不足のためです.〈聖霊を受ける〉に対して全然分からないとか正確に分からないことは皆の信仰の生活の発展を塞ぐ要因になります.そうするので〈あなたがたは聖霊を受けたんですか?〉という質問に対して正確に理解して答えなければなりません.もちろんその知識は徹底的に聖書に根拠したことではなければなりません.それでは前で話した三つの種類の返事に関してよく捜して見ます.

第一、〈聖霊に対して分からないです〉という返事に関してよく捜して見ましょう.

こんなに答える人は二つの種類があります.その中に一つは,キリスト人ではない場合で また他の一つは,キリスト人の場合です.イエスキリストを信じない人が聖霊に対して分からないことは当たり前なのです.しかしキリスト人の場合もあるのに使徒行伝に記録されている小アジアのエペソに立てられた初期の教会の信者たちの状態がそうでした.
エペソを訪問したパウロ使徒が〈あなたがたが信じる時に聖霊を受けましたか?〉(行19:2)と問いました.エペソ信者たちが答えったのは〈私たちは聖霊がいらっしゃるということも聞くこともなかった〉と言いました.エペソ信者たちは彼らが大望した メシヤは イエス様というのをパウロの教えることを受けて信じた後 水で洗礼を受けてパウロが按手をする時聖霊を受けました.

第二、私はイエス様を信じるから聖霊を受けた人ですという返事に関してよく捜して見ます.

このような返事をする人はイエス様を信じて迎接するようになる事と聖霊を受けることは分離することができない一つの事件に分かっています. ガーラディアで(3:2)に〈私があなたがたにただこれを知らせておきたいだから あなたがたが聖霊を受けたことは律法の行為だかあるいは聞いて 信じるのか〉しました.コリント第一で(12:3)に〈聖霊様でなくては誰でもイエスキリストを主と言うことができない〉言いました.(12:13)には〈私たちがユダヤ人やヘルラ人やしもべ や自由者もひとつの聖霊で洗礼を受けてひとつの身になった〉しました.

イエス様を信じてキリストと神秘的な連合を成すようになることは聖霊で洗礼を受けた結果というお話です.今 話した聖書の句節に根拠して主張するのは〈すべてのキリスチャンは聖霊で洗礼受けました.だから他にまた聖霊洗礼を受けなければならないということは正しくないです〉と言ったら部分的には正しいが,彼が聖霊洗礼に対して完全な知識を持っていることができないということを現わすのです.

聖書には三つの種類の洗礼があります.第一,聖霊でキリストと連合するようになる洗礼があります.悔い改めてイエスキリストを迎接するのです.第二,水の洗礼があります.イエスキリストを信じて昔の人は死んで新しい人になってキリストに属した者になることを現わす聖なる儀式です.第三,イエスキリストを信じて聖霊で生まれかわった者が聖霊で満ちあふれるのを受ける体験としての聖霊の洗礼があります.
このような知識を持って聖霊の洗礼に対する明確な理解をするようになれば〈イエス様を信じる人はすべて聖霊の洗礼を受けたがまた何の聖霊の洗礼を受けなさいと言うのか〉と駁するものを言わなくなります.

第三、〈私はイエス様を信じてなん年にも経ったがまだ聖霊は受けることができなかったんです〉という返事に関してよく見ます.

こんな返事をする人は聖霊を受ける体験が二つの種類というのが分かる信者です.イエスキリストを信じることを意味する〈聖霊受ける〉とキリスト人に注がれる聖霊の満ちあふれるの体験である〈聖霊受ける〉これはおのおの違う体験というのが分かる信者です.聖書には二つの種類の聖霊洗礼をおっしゃっています.

第一 イエスキリストを信じて迎接する者が聖霊で生まれかわって新しい生命を受けてキリストと連合されることを示して〈聖霊で洗礼受ける〉または〈聖霊受ける〉と言います.コリント第一 で(12:3)に〈聖霊でなくては誰でもキリストを救い主と言う者がないだと〉した,(12:13)には〈私たちがユダヤ人やヘルラ人 やしもべや自由者もおなじ聖霊で洗礼を受けて一つの身になった〉としました.

第二番目は,イエスキリストを信じて生まれかわった信者に聖霊の満ちあふれるのを経験するようになることを示して〈聖霊洗礼受けること〉または〈聖霊受ける〉と言います.
使徒行伝(1: 4〜5)に〈使徒と一緒に集まってともに言いつけてエルサレムを発たずに私に聞いたところ父の約束したことを待ちなさい / ヨハネは水で洗礼を施したがあなたがたは間もなく聖霊で洗礼を受けようになるだと〉言いました.このような聖霊洗礼を聖霊の臨み,聖霊の充満しと言います.使徒行伝(1:8)に〈ただ聖霊があなたがたに臨めばあなたがたが権能を受けてエルサレムと全ユダヤとサマリアと地の最後までのぼり出して証人になろうと〉言いました.使徒行伝(2:4)に〈私どもがすべて聖霊の充満することを受けて聖霊が言わせることによって他の方言で言うのを始まったと〉言いました.

このように聖霊充満のことを受けるようにする聖霊洗礼を “聖霊受ける”とも言います.それで聖霊洗礼,聖霊充満し,聖霊受けることを同義語で使っています.

ところで初めて聖霊充満だけの体験である聖霊洗礼は一度あるが,聖霊充満することは何回あります.だから信者たちは聖霊充満することを意味する聖霊洗礼を受けるために切に求めなければなりません.そして聖霊充満を重ねて体験するようにしなければならないという事実です.
スデバンが執事に選ぶことを受ける時に聖霊充満する信者でした.ところで彼が殉教に直面するようになった時の場面にこんなに記録されました.〈 彼どもがこの言葉を聞いて心に突かれて私に向けて歯を噛んで スデバンは聖霊が充満して天を仰いで注目して神様の光栄と及びイエス様が神様の右側に立っていらっしゃるのを見て言うが 天が開かれて人の子が神様の右側に立っていらっしゃるのを見る〉(行7:54-56)
スデバンは迫害を受けてたまらなさの危機に処した時胆大さと慰労と強い信仰を持たなければならなかったしこのためにもっと聖霊の充満することが必要だったのです.
使徒パウロがグブロ島の総督に福音を伝えることを妨げる魔術師に叱る場面にこんなに記録されました.〈パウロと言うサウルが聖霊が充満して彼を注目して / すべての悪事がいっぱいな者で魔鬼の子でありすべてのただし者の敵よ主のまっすぐな道を曲げることを止めないのかもう主の手が君の上にあるから君が盲人になっていくら間は日を見ることができないだろう直ちに霧と暗さが彼を覆って導く人をさがしまわった〉(行13:9-11)
パウロ使徒は常に聖霊充満したはずだが特別な状況でもっと聖霊様の助けることと能力が必要だったのです.
ユダヤの宗教リーダーがペテロとヨハネを拘禁されてから脅威して放してやった時 使徒たちが集まって祈ったら彼らが聖霊に再充満することを受けた場面がこんなに記録されました.〈神様よ 今も私どもの脅威することを下げしてまた僕たちにとって胆大に神様のみ言葉を伝えるようにしてくれて手を突き出して病気を癒やして標的と奇跡が聖なる僕イエスの名で成り立つようにしてください祈るのを終わってから集まった所が震動したら群れがすべて聖霊が充満して 胆大に神様のみ言葉を伝える〉(行4:29-31)
このように聖霊充満することを受けることで難しい試練と危機,逼迫,逆境を充分に乗り越えるようになさってまた一方では福音を 胆大に伝えて大きい標的と奇事を現わすために聖霊充満をください.だから私たちは聖霊充満を重ねて求めなければなりません.

私たちは偏見と我執を捨てて聖書に記録された通り信じて順従しなければなりません.聖書のどおり聖霊充満を切に体験しなければなりません.聖霊充満だけは聖霊の臨在するようになって圧倒されるのです.聖霊様が導くに完全に導かれて行く状態になるのです.聖霊充満すれば礼拝を差し上げるのが好きになります.イエスキリストを現わして伝えるのに力をつくすようになります.神様の仕事のために献身するのが楽しみになります.聖霊の権能が臨んでこんなことをするようになります.もう皆さんは〈あなたは聖霊を受けたんですか?〉という質問に対して明らかな理解の土台の上で答ができるでしょう.まだ聖霊充満を意味する聖霊洗礼を受け入れなかった方は聖霊で洗礼を受けるのを願って切に求めてください.聖霊洗礼を体験した方々は繰り返えして聖霊充満ばかりするのを願いながら祈ってください.そして神様がくださる権能を受けて胆大で熱情的で力の強く信仰生活をなさるのを成就を祈ります.